



(トンカフェ)

PTA生活委員会が主催する愛情
たっぷりのカフェが今年も学校祭の
期間中開催されました。南国風の飾
り付けをした店内は、窓から見える
青空も手伝って明るさ満点！学校祭
を見に来たご家族や友人・知人の方
たちが休憩場所として利用なさって
ゆったりとお茶を楽しんでいる様
子でした。学校祭ポスターに描かれ
ていたひまわりをモチーフにした役
員手作りの折り紙のひまわりもさり
げなく飾られて、ひとりひとりのア
イデアと繊細な心配りが伝わりま
す。

販売された「創房みな・みな」の
パウンドケーキや「ガーデン」の無
添加プチおやつセットはもちろん大
人気。今年初登場の「トンドラ」
(校章の焼印を押したとら焼き)も
合わせて千個が早々の売り切れとい
う繁盛ぶりでした。飲み物の一番人
気はマンゴージュースで、昨年に続
き王座を譲らなかったそうです。



開店準備中



夏井圭子
委員長

私はこんな機会を
くれた息子に感謝
しています。
(生活委員長談)

今年は百十周年という節目を意識して話
し合い、内容をいくつかリニューアルしま
した。「Ton cafe」というネーミングは「東
高」とんこつ」と市民の皆さんに以前から
親しまれていることを思い出してつけまし
た。生徒会とのコラボでフェアトレードの
解説を展示し、メニューには、紅茶を加え
ました。今年の新商品「トンドラ」は、校
章の焼印を発売することから始まった企画
ですが、予想をはるかに上回る反響で安心
しました。カフェの運営には本部はもちろ
ん他の役員さんやOBの方まで手伝いに集
まっていた頂きました。このような出会い
と触れ合いが役員をさせていただいて一番
嬉しいことです。

「トンドラ」は焼印も珍しいけれど何よ
りも美味しいわ！とお客さんの言葉を耳に
したときには嬉しかったですね。疲れも
一気に吹き飛びました。ただ今回は数が足
りなくなり、申し訳なかったのですが、来年も
引き継いで頂いて、そこでぜひお買い求め
いただけると思います。これから
東高PTAの名物になってくれないかし
ら。

(委員談)



名物になるといいですね！来年も
PTAのカフェが楽しみです。生活
委員のみなさんありがとうございます！

定時制からの風

定時制では、七月五日(土)・六日(日)
の二日間にわたり学校祭を行いました。団
員に墨汁と筆で好きな言葉や絵などを描き、ス
パタリョウの技法を合わせた個性豊かな書
道作品。一年生の有志生徒が鉛筆で、繊細に
描いた自動車のイラストを展示し、来校され
た方々に見ていただきました。

生徒は当日、受付、書道展示係に分かれ仕
事をしていました。空いた時間には、校内
ウォークラリーを行い、全日制の様々なデー
マにもとづくクラス展示を見学してまわった
り、中庭で行われた全日制のフードガーデン
のホルモン等に連日通ったりした生徒もいた
ようです。

三階のPTAコーヒショップ(Ton
Cafe)では、定時制生徒の様子を多くの
方々に知っていただきたと思い、「定時制
の一日」と題したプリントを掲示させていた
だきました。

生徒数が少な
く、時間的な制約
もある中での学校
祭準備・開催とな
りましたが、この
学校祭をおとし
て、生徒が何か新
しいものに出会っ
たり、気づいたり
したかと思いま
す。今後、行事
の一つ一つが、高
校生活の良い思い
出になってもらえ
ればと考えていま
す。

(教頭・瀧澤)



「ライブで盛り上がり」



「仲良く一服」

教養委員会ってどんなところ？

みなさん、教養委員会の講座に参加したことはありませんか？毎年、バラエティに富んだ学びの場を提供している教養委員会。このページではその活動に密着し、委員会としてのスタンスやこだわり、今後の活動予定について取材しましたのでご報告します。



教養委員会の様子

歌とピアノで お届けする癒しの音楽会

さて、7月16日に第1回の教養講座「歌とピアノでお届けする癒しの音楽会」が東高音楽室で、一級認定音楽療法士である笠原ゆかりさんを講師に行われました。まず、音楽療法とは具体的にどのようなものか、笠原さんにお話を伺いました。「音楽療法とは、音楽をきっかけに、対話やアイコンタクトからコミュニケーションをとることによって、対象者の精神的QOLの向上を目指すことだと思っております。その効用は、すぐ現れる、何年かかっても徐々に現れる、突然現れるなど様々で、数値に出ないのでわかりにくいのですが、ミラクルに遭遇したことも少なからずあります。今回は、「癒し」と「命」をテーマに、一瞬で何十年も前にタイムスリップし、懐かしい曲を聴いてリラクゼーションして頂けたら嬉しいです」プログラムは「卒業写真」「ハナミズキ」等の歌謡曲から「浜辺の歌」「ふるさと」といった唱歌まで計15曲。伸びのある素晴らしい歌声とトークを楽しみながらゆったりと癒された、素敵な時間となりました。



講師の笠原ゆかりさん

第2回教養講座は8月27日に「いたがきの革でスペシャル☆革長タグ」が行われました。

独自の革製品の制作で知られる「株式会社いたがき」ではこれまで学校に出向いて講座を行った例はなく、今回は初めての試みとして実現しました。もの作り体験を通して本物に触れるとともに、直接ものづくりスタッフさんから革製品のお手入れ法や現場サイドの様々な苦労話を伺うなど、ただ楽しかったで終わらない貴重な体験講座だったと思います。第3回教養講座は、10月31日に「東高スペシャル・ワイン」とともにハロウィンのタペを開催予定です。また、今年度初の試みとして、生活・教養委員会共催座談会「高校生活・受験を支える父母の情報共有のタペ」が開催されました。OB・OGを交えて語り合う、過去にはない画期的な試みで、得るところの多い催しとなりました。こちらの様子は次号でレポートしますのでお楽しみに！



まだまだ間に合う教養講座!!

「東高スペシャル☆ワインとともにハロウィンのタペ」を開催予定です。今までにないお酒についての教養講座であり、より会話を楽しみ、食事に華をそえるワインについて知識を深める講座です。会費もおさえた価格としています。こちらの講座もぜひご参加ください!!

日 時: 10月31日(金) 午後6時30分
会 場: 旭川トヨホテル
参加費: 2,500円



「保護者進路研究会」 が行われました!



杉浦美佳
委員長

7月18日(金) 午後7時から旭川勤労者福祉会館で、PTA第3学年委員会主催の保護者進路研究会が開行されました。1・2学年時は「茶話会」として懇親を深めていた催しが、3学年となり「保護者進路研究会」という形で行われ、初めての試みとなったのです。

会場ではクラスごとにまとまり、それぞれ学年委員の司会でスタート。子供の大学受験は未経験の保護者が、経験のある保護者や先生方に質問する形で、活発にディスカッションが行われました。

「今から受験期にかけて親がやっておくべきことは?」「航空券の手配はいつ頃?」「受験に親はついて行くもの?」「私立大学って実際どれくらいの費用がかかる?」「浪人するときの予備校選びは?」……保護者から、そして先生方も惜しみなく情報を提供してくださり、少し肩の荷が軽くなった参加者も多かったのではないのでしょうか。

学年委員長杉浦さんに、この会を企画した経緯をお聞きしました。

「生徒同様、親にとっても「受験は団体戦」。この2つの団結力+先生方の協力で支えあって山場を乗り越えたい、という思いで計画しました。周りの声を耳にして、経験の有無を問わず、みなさん知りたいことは多いのではないかと思ったのです」

親にとっても団体戦。この試みは、東高ならではの親・子・先生全員の団結のきっかけとなり、素晴らしい実を結んでくれることでしょう。



◆高田泰子教養委員長のお話



高田泰子
委員長

「教養とは「広い知識と豊かな心」であり、本来の意味での教養を磨くために講座を企画し、また広く交流、親睦の場を提供したいと考えています。特に今年度は、東高にふさわしく、特色のある充実した内容の講座を目指しました」

委員会では、作る・聴く・食べる・感じる・話すなどのジャンルで偏らないよう候補が絞り込まれ、男女問わず多くの方が参加でき、コミュニケーションの場となる講座、その後の生活に反映できるものを、と真剣に討議が行われていました。

PTA活動紹介

高P連全国大会

副会長 小倉美枝子

8月22・23日に「教育と考福」～未来に引き継ぐ知と恵み～をテーマに、全国高等学校PTA連合会大会福井大会が開催されました。

日本海に面した越前・若狭の国福井県は、古い歴史と豊かな文化が継承されているところで、現在は幸福度ランキング1位！社長さん率1位！！小中学校学力運動能力調査トップクラス！！さらには福井に1日居ると15分寿命が延びる！！そんなところだそうです。

全体会基調講演は、茂木健一郎氏の「今求められる考福脳～脳科学者からの提案～」。自分の個性を受け入れることが幸福につながり、できないと思っていたことが出来た時にドーパミンが放出⇒脳の最大の喜び！となります。ドーパミンを出すようなチャレンジができるかどうか！？が大切…等の内容で、あっという間の一時間でした。



さらに午後からの分科会・翌日の全体会と盛り沢山の全国大会、宿泊した加賀百万石の城下町金沢で兼六園の散策もでき、大変有意義な三日間となりました。

高P連全道大会

副会長 田島 隆主

6月14日～15日、北海道高P連後志大会に6名で参加して参りました。開会式典の後は、今や国際色が定着したニセコで、冬のスキー・夏はカヤックやラフティングのレクリエーションを通して、滞在型観光の企業化を先駆け、同時に地域おこし、雇用創出にも大きく貢献されている、ニセコ・アドベンチャーセンター代表 ロス・フィンドレー氏の講演会。キーワードは「住むより楽しむ」。聴いている内に北海道という自然環境の中で思いっきり遊びたくなるお話であり、「楽しむ」こと＝日々の生活を究めることである、と思い至る素敵な講演でした。

大会2日目は小樽潮陵・水産高校にて36の分科会。各々参加した6テーマの会場では、活動の実情・抱えている課題について発言・意見交換を行いながら進められ、PTAへの参加意識を高める取組など興味深いお話も聞くことができました。保護者どうし時間と意思の共有を実感できた小樽の地でした。



広報担当者の集い

副会長 西浦 静代

6月20日に高P連旭川支部「広報担当者の集い」が開催されました。広報の担当者を集めより良い広報誌が作れるように、毎年いろいろな講師の方をお招きして講座が開かれます。

NPO法人かわうそ倶楽部の中尾伊早子さんを講師に「読みたくなる広報誌とは」の講座から始まりました。「私は編集のプロではありませんが楽しみながら仕事をするを皆さんにお伝えできます」と、自らの体験を基に広報誌を作る上でのポイントなどを分かり易くお話しして頂きました。

後半は参加した11校54名が8グループに分かれ、情報交換・交流。それぞれの学校の広報誌に特色があり、担当者からの自慢話や苦労話は、今後の誌面作りに役立つことばかりでした。PTA活動の楽しさを伝えることで、多くの方々が活動に興味を持ち参加して頂けるような広報誌をめざしていきたいと思います。



広報誌のタイトル募集します！

「旭川東高だより」と「旭川東高PTAだより」。学校から配られる広報誌には2種類あることを、みなさんはご存じでしたか？今ご覧になっているのは「旭川東高PTAだより」。PTAの広報誌で、主にPTA活動をお知らせする役目を担っています。ですが、何かと学校が制作する「旭川東高だより」と混同されがち……そのため、PTAの広報誌に、わかりやすくタイトルをつけたいのでは？と広報委員会では考えています。

そこで、来年度からの広報誌のタイトルを公募いたします。ぜひ、この広報誌と一緒に配られたプリントでご応募ください。また、広報誌へのご意見・ご感想をあわせてお聞かせいただければ幸いです。みなさんのアイデアをお待ちしています！

PTA行事予定

●教養委員会

10月31日

「東高スペシャル☆ワインとともに
ハロウィンのタベ」

●1学年委員会

2月13日(予定) 第2回懇親会

●2学年委員会

10月3日 茶話会 勤労者福祉会館
2月予定 懇親会

●3学年委員会

11月14日 総決起大会

編集後記

旭川東高PTAだより、通算第7号をお届けいたします。PTA広報誌が発刊されてから4年目となり、従来よりもいっそう「PTAの広報誌」らしく、保護者のみなさんにPTA活動をさらに知っていただくよう心がけた内容となっております。学校行事のご紹介は「旭川東高だより」という学校だよりがありますので、学校祭以外はそちらにお任せし、ここではPTAの一員である先生方の目から見た学校祭という、切り口の違ったものを掲載してみました。

また今回ご紹介したPTAの教養委員会・生活委員会の活動について少しでも身近に感じ、興味を持っていただけたら何よりです。

次回8号の発行は、卒業式当日を予定しています。今後とも「旭川東高PTAだより」をご愛読いただきますようお願いいたします。